

令和4年1月7日朝礼

令和4年、2022年がスタートしました。昔から日本では、「1年の計は元旦にあり」と言って、1年の始めに目標を立てることが大切であると言われてきました。また、1年の初めに見る夢を「初夢」というそうですが、皆さんは、1年の初めにどんな夢を見ましたか。

さて、「夢」という言葉は、「将来やってみたいこと・仕事」という意味でも使われます。私が子どものころの夢は、「宇宙飛行士」でした。小学生の頃から星を見るのが好きで、どこかには宇宙人がいるのかな、調べてみたいなと思っていました。「そんなの、なれるわけない」とまわりの友達には言われましたが、当時の私は本気でなりたいと思っていたのです。だから、教科の中では、理科が好きでした。

ところが、宇宙飛行士になるには、目がよくないといけないと言われて、小学校の時に視力が下がってしまって、とてもがっかりした思い出があります。思い通りにはいきませんでした。せっかく星のことをたくさん勉強したので、そのことをたくさんの人に知ってもらえたらという気持ちで、小学校、中学校の教員になることを目指すことにしました。今ではこの仕事をする事ができて、本当によかったと思っています。

私の友達に、将来はプロ野球選手になりたいと思って、野球の練習を一生懸命している人がいました。でも、プロ野球の選手になるのって、本当に難しいことなのですね。その友達も残念ながらすることはできませんでした。でも、今では、少年野球の監督として、小学生の子たちに、野球の楽しさを教えているそうです。自分が一生懸命野球に取り組んできたからこそ、野球のよさがよくわかるのでしょうね。また、厳しい練習にも負けずにがんばって取り組んできたので、少しばかり大変なことがあっても、あきらめずに挑戦する気持ちが育ったと言っています。さらに、強いスポーツの選手って、その競技の技術があるだけでなく、礼儀もしっかりしているのです。特に挨拶は、いつも大きな声で元気よくしていて、まわりの人からは気持ちよく思われています。一生懸命努力してきたことは、決して無駄ではなかったのですね。

皆さんはどんな将来の夢をもっていますか。難しいと思うような夢でも、夢に向かって努力したことは、必ず何かの役に立つはずだと思います。目標を決めて、頑張ってみようという気持ちを、1年の初めのこの時期に、もつことができれば素晴らしいと思います。皆さんの努力を、秋竹小学校の先生みんなで、これからも応援していきたいと思います。